

## 2. 専門部会の審議状況

### 1) 活力づくり部会

#### ■審議テーマの設定

宮前区の一の特徴と言える「坂道」を活かし、まちの魅力づくりや健康づくりなどの活力づくりを行い、地域社会への参加につなげるための取り組みを審議しています。

#### ■開催経過

合計5回の部会を開催しました。

第1回	9名出席 平成22年9月7日(火)
	・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ ・具体的な審議テーマ 等
第2回	9名出席 平成22年10月6日(水)
	・これまでの整理 ・コミュニティにつながる仕掛けづくりについて 等
第3回	10名出席 平成22年11月24日(水)
	・坂道を活用した取り組みのアイデア ・坂道以外の視点の抽出 ・他地域における坂に関連する取り組みの紹介
第4回	8名出席 平成23年1月21日(金)
	・坂道以外の視点の抽出 ・坂道を活用した取り組みのアイデア ・今後の検討の進め方 ・区民会議フォーラムの開催について
第5回	7名出席 平成23年3月2日(水)
	・目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についてのアンケート結果の確認 ・坂道マップづくりに関する意見交換 ・今後の検討の進め方 ・区民会議フォーラムの開催について

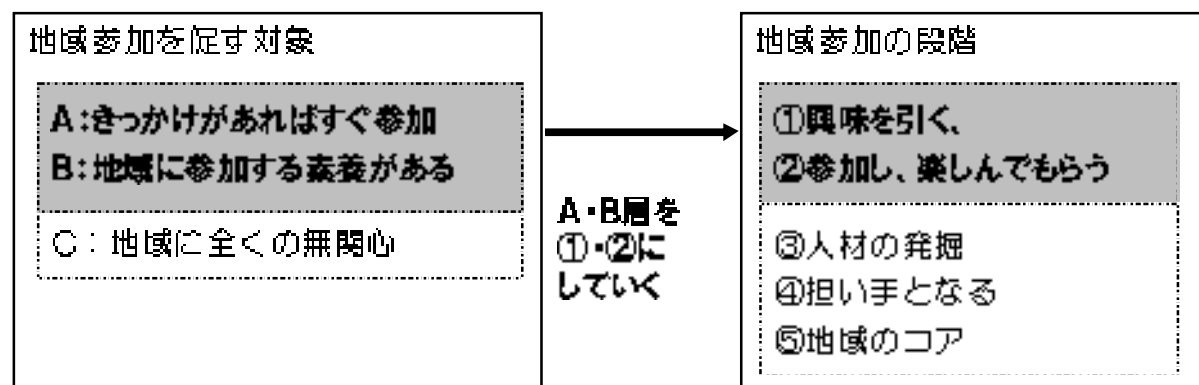
## ① これまでの検討内容

### 第1回（平成22年9月7日）

#### ■コミュニティづくりのイメージ

区民のコミュニティへの関わりについて議論した。

地域への参加を促進する対象として、Cを中心にするという議論もあったが、A・Bのタイプを中心に地域参加のきっかけを提供し、①・②にしていくということになった。



#### ■具体的な審議テーマについて

- ・宮前区に多い「坂」を活かす
- ・坂を含め複数の資源をうまく組合せる
- ・高齢者が元気になる取り組み

といった意見が出された。これらをもとに、次回さらに議論を深めることになった。

### 第2回（平成22年10月6日）

#### ■これまでの整理

地域社会の土壌づくりとして、まちや人に興味を持ってもらい、自然と地域社会に参加してもらうための仕掛けを検討することを確認した。

#### ■具体的な仕掛けづくり等について

主に坂を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。

- ◇坂を活用したイベント  
（自転車レース、スタンプラリー、坂の登り方講習等）
- ◇イベントではなく誰もがいつでも取り組めるもの  
（坂だけでなく眺めの良い所や神社公園などを巡るスタンプラリー、各ポイントでのカロリー表示等）
- ◇他のイベントや既存のものを活用する
- ◇参加したときの成果が見える取り組みにする（景品プレゼント等）
- ◇第2期区民会議までの取り組みも活かす

### 第3回全体会（平成22年11月11日）

「コミュニティづくりのイメージ」「当面の目標・ターゲット・アプローチ」などこれまでの議論内容を確認し、意見交換を行った。

#### ■意見交換

- ・第1期の体操や第2期の公園など、これまでの取組と上手く関連付けられないか。
- ・仕掛けとしてはイベントが入りやすいが、それだけに終わらず普段の活動につながられるようにしたい。
- ・いろいろな団体が上手く連携を取り、区民の横のつながりをつくりたい。
- ・区民マラソンの参加賞に梨や地元の野菜を提供するなど、部会同士のコラボも。
- ・「楽しい」と思えることなら広がる。
- ・植木の里を散歩するとか、坂の上で見られる景色は財産。

### 第3回（平成22年11月24日）

#### ■坂に関連する取組や他の地域の状況(主な3事例を紹介)

- ◇坂道ウォーキングのすすめ 東京都目黒区  
坂道をテーマにしたコースとともに、ウォーキングアドバイスなどを紹介したマップで、発売開始直後から売れ行き好調
- ◇ZAMA坂道マラソン 神奈川県座間市  
坂道を活かしたマラソン大会で、3つのコースを設定
- ◇ようよう坂町ウォーキングイベント 広島県坂町  
行政、大学、商工会が参画し、毎回主催者を変えて、内容のマンネリ化防止と担い手負担の分散を図っている

#### ■坂道を活用したアイデア

- 主に坂道を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
- ◇坂道のマップをつくり、四季を感じられるようなコースや夜のコースを設定する。
- ◇コミュニティの場に出てきてもらうためのイベントと普段できる継続的な取り組みが必要だと思う。
- ◇坂道を活用したクイズ・ラリー・ゲームを実施してはどうか。
- ◇iPhoneアプリを活用するなど若い人が参加するきっかけをつくることもできる。  
(神社公園などを巡るスタンプラリー、各ポイントでのカロリー表示等)
- ◇行政やいろいろな団体との連携が必要である。

#### ■坂道以外の視点

坂道以外の視点として、神社、公園、河川、団地、階段といった資源が挙げられた。

## 第4回（平成23年1月21日）

### ■坂道以外の視点

坂道以外の視点について検討した結果、坂道を軸として、坂道周辺にある資源についてとりあげることにした。

### ■坂道を活用したアイデア

主に坂道を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。

- ◇マップは坂道に限らず、坂道周辺の資源の情報も一緒に提供できるとよい。
- ◇マップはイベントと連動するようなものをつくりたい。
- ◇ただ作っただけで終わらないように、川崎フロンターレの協力を得るなどマップのPRにも力を入れたい。
- ◇マップの作成にあたっては、目黒区の事例やこれまで区で発行されてきたマップを参考にしながら作成する。
- ◇イベントは既存のイベントとの並列ではなく、それらを含むようなものにした。
- ◇イベントの景品については農・商・工と連携できるとよい。
- ◇坂道をいろんな形で取り上げることでより多様な世代と関われるようにしたい。

### ■今後の進め方

坂道をメインテーマとし、坂道をメインテーマとしたマップの作成、坂道を活用したイベントの実施、日常的な取り組みの実施の3つの取り組みを検討することとした。

## 第5回（平成23年3月2日）

### ■目黒区「坂道ウォーキングのススメ」についてのアンケート結果の確認

目黒区の「坂道ウォーキングのススメ」について

- ・どんなところが良いか
- ・もっと盛り込みたい情報は？
- ・宮前区で行うならば、どうやって情報を集めるか？誰が集めるか？
- ・PRの方法は？

という4項目について、委員にアンケートを行い、その結果を確認した。

### ■坂道マップづくりに関する意見交換

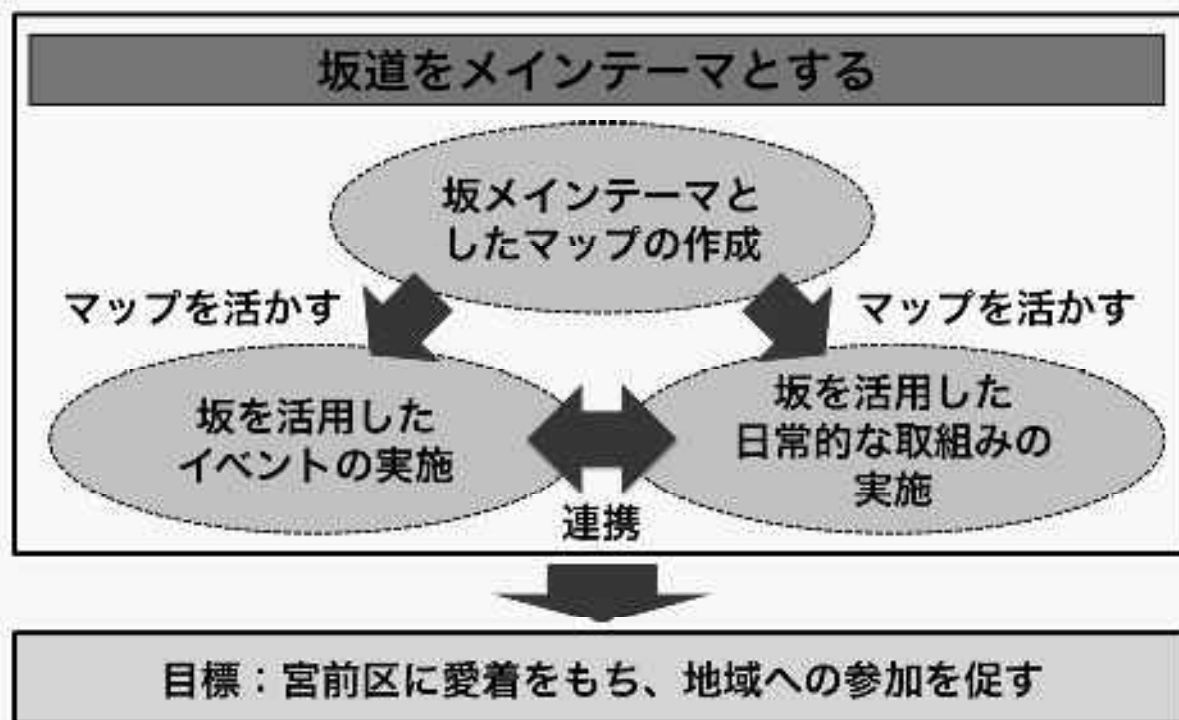
アンケート結果を確認しつつ、坂道マップづくりについてのアイデア等について意見交換を行った。

### ■今後の検討の進め方

次回部会では、宮前区の坂道の分布状況を確認し、坂道マップのコンセプトとマップづくりについてどこまで部会で内容を固めるかを検討する。

## ② 今後の方向性・取り組み

宮前区らしさを表す「坂道」を活かし、まちの魅力づくりや健康づくりなどの活カづくりにつなげ、坂道のマップづくり、年に1回行うような「坂道」を活かしたイベント、誰でも気軽にできる「坂道」を活かした日常的な取り組みという3つの取り組みを連携させることにより、宮前区らしさを活かしたコミュニティづくりにつなげていくための取り組みを審議しています。



## ③ マップづくりの課題

### ■坂道マップで取り上げる資源

神社、地蔵、公園、河川、景色の良い場所（坂の上から見る富士山スポットなど）など、坂道周辺にある資源も取り上げ、魅力的な内容にしていく必要があります。

### ■魅力的なコースの設定

四季を感じられるコースやナイトコースなど、多彩なコースを設定する必要があります。

### ■活カづくり＝健康づくりにつなげる情報提供

膝の曲げ具合や呼吸法などの坂道の歩き方や坂道を歩いたとき消費カロリーを表示など、坂道を活かした健康づくりにつなげるような情報を提供する必要があります。



### ■マップのPR方法

川崎フロンターレの選手・ふろん太くんなどの著名人やキャラクターの協力を得たり、坂道に関するCMをつくり、マップに付録としてDVDをつけたりするなど、効果的にPRし「人の手によってもらえる」ような仕組みを考える必要があります

## ④ 坂道を活用した日常的な取り組みの課題

### ■坂道を楽しめる仕掛けづくり

坂道ラリーやクイズ、ゲームといった坂道を楽しめるような仕掛けづくりを考える必要があります。

### ■話題性の高い仕掛け

スマートフォン対応アプリなどを使うことにより、話題性を高める仕掛けを考える必要があります。



## ⑤ 坂道を活用したイベントの課題

### ■効率的で魅力的なイベントの開催

定例開催は運営が大変になります。既存のイベントと連携したり、いろんな団体が交代で開催するなどし、運営の負担の軽減やマンネリ化を防ぐような仕組みを考える必要があります。

### ■ちきんちきん地参知笑部会との連携

農商工など地参知笑部会と連携し、宮前区の名物をPRできるようにしていく必要があります。

## ⑥ 3つの取り組み全てに関わる課題

### ■三位一体の取り組み

3つの取り組みがバラバラにあるのではなく、全てが1つの取り組みにつながるような仕組みを考える必要があります。

## ■活力づくり部会 議論ペーパー

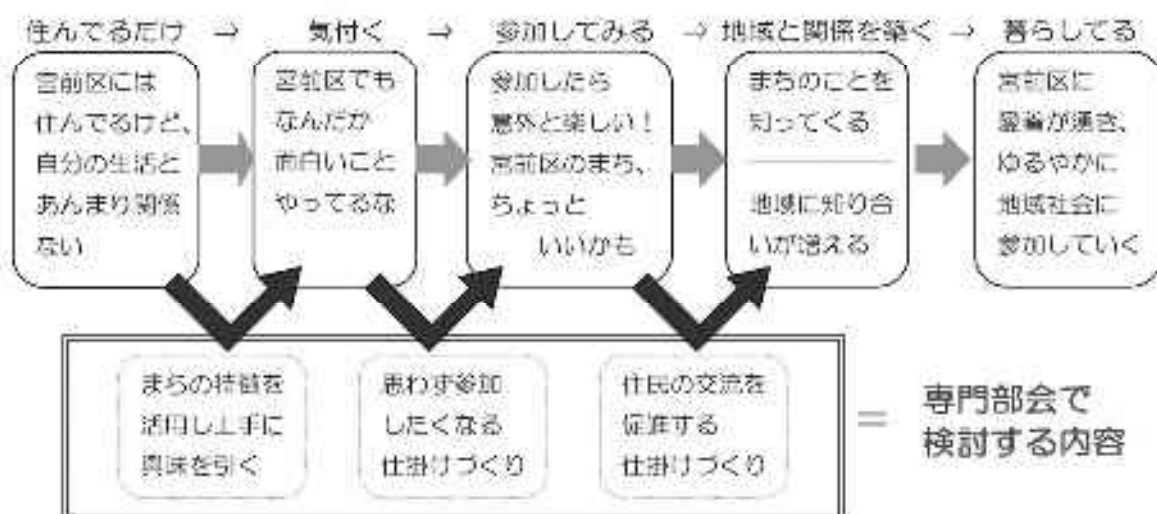
### ■議論のベース

【当面の目標】 区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、愛着や帰属意識をつくる  
地域社会と接点を持ち、地域社会に関わる・参加する人たちを増やす

【ターゲット】 今は宮前区と離れた生活をしていても、地域社会に参加する素養のある層

⇒ 宮前区に『ただ住んでるだけ』という意識を、このまちで『暮らしてる』という意識に変えていく

### ■どうすれば変わる？住民意識



～これまでの主な意見～

### ■まちなの特長・特徴

【坂】 一番の特徴。区内全体で40ヶ所近くあり、ほとんどの区民が坂を通る生活)

【典型的な住宅地】

まちなへのそがない。河川や神社、公園なども小さい

【子育てのまち？高齢者のまち？】

子どもが多い一方で、意外と公営住宅が多く高齢化が急速に進展中

### ■坂を活用したアイデア

【健康づくり】	
坂道マップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂道で楽しめる情報を掲載</li> <li>・坂道ウォーキングコース設定、消費カロリーを表示</li> <li>・坂道の歩き方レクチャー（膝の曲げ具合や呼吸法など）</li> </ul>

ウォークラリー スタンプラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社や景色の良い場所（坂の上から見る富士山スポットなど）</li> <li>・四季を感じるコース</li> <li>・ナイトウォーキング</li> </ul> ⇒定例開催は運営が大変。 いろんな団体が交代で開催できればマンネリ防止と負担分散
坂道マラソン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂道をつなげたコース</li> <li>・参加賞、商品に宮前区の産物を使ったら？</li> </ul> ⇒交通規制など少し大掛かりになるかも
ツール・ド・ ミヤマエ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩くよりも自転車はもっと坂を感じられる</li> <li>・電動・ママチャリ・補助輪付きなど部門別イベント</li> </ul> ⇒同じく交通規制が… ⇒自転車保有率が低く、関心が持たれないかも

【魅力づくり】	
坂道ネーミング	18ヶ所ある坂道の愛称を拡大し、親しみを持ってもらう
写真クイズ	坂道の写真でクイズを出し、同じ写真を取れたら抽選でプレゼント
写真ラリー	区内の坂道写真コンプリート豪華商品？
坂道ゲーム	いくつか坂道を巡るとひとつの言葉になるゲーム
iPhone アプリ	坂道をテーマに住民と行政がアプリをつくれれば話題性は抜群
坂道写真展	

■他の切り口

--	--



## ■宮前区の坂道一覧

番号	地区	愛称	コメント	区分	
1	野川	くめぎ坂	昔から「くめぎ坂」の名で親しまれていた。	公募で愛称を付けた坂	
2		榊六坂	周辺は、昔から「榊六谷戸」と呼ばれている。		
3		梅ノ木坂	梅林があり、毎年2月頃に見事な梅の花を見ることができる。		
4	東有馬	口向坂	以前、周辺を口向(ひなた)と呼んでいた。		公募で愛称を付けた坂
5	有馬	神明坂	坂の途中に有馬神明神社がある。		
6	宮崎	さくら坂	春に桜が満開となり、駅前でさくら祭りが開かれる。		
7	宮崎 宮前平	幸脇坂	かつて近くにお幸があり、周辺を「幸脇」と呼んでいた。		
8	宮前平 土橋	富士見坂	この坂から富士山を見ることができる。		
9	鷺沼	春待坂	西向きの斜面で桜の開花が遅く、春を待つイメージがある。		
10	神木本町	鶴ヶ谷坂	昔、周辺は「鶴ヶ谷」と呼ばれ、鶴の首のような谷戸だった。		
11	五所塚	見晴らし坂	斗田緑地、登戸、多摩川、東京方面を一望でき、見晴らしがとても良い。		
12	平	たいら坂	坂を登りきったところに平公園がある。		
13	菅生	巴坂	坂沿いにある菅生神社の神紋が「巴」である		
14	宮崎	長坂	国道246号線の榊ヶ谷付近は、かつて「長坂」と呼ばれていた。現在の青少年の家周辺が降車に接続されたときに迂回路としてつくられたもので、名前だけが残った。	歴史的呼び名を持つ坂道	
15	初山 白鷺台	島坂	もともとは横浜方面への本道だったが、当時の平瀬川は曲がっていて、周辺が高に見えたことから「島坂」になったと伝えられている。		
16	宮崎	庚申坂	かつて近くに「庚申堂」があったことから庚申坂と呼ばれている。大山詣での人々が立ち寄り、道中の安全を祈ったと言われる。		
17	宮前平	八幡坂	旧大山道の一部で、坂の下に八幡様がある。		
18	犬蔵	白井坂	道づくりに貢献した白井佐吉氏の名前にちなみ、こう呼ばれる。		
19	野川	介人坂		宮前区歴史ガイドに掲載されている坂	
20		天屋坂			
21		稲荷坂			
22		子の神坂			
23		勘進坂			
24		花井坂			
25		くまじり坂			
26		宮坂			
27	おくまん坂				
28	榊ヶ谷	稲荷坂			
29	馬絹	六兵衛坂			
30		介天坂			
31	小台	小台坂			
32	神木本町	楠木坂			
33		筥坂			
34	平	六兵衛坂			
35	菅生	天道ノ坂 (矢取坂)			
36		権現坂			
37	水沢 菅生	菜畑坂			

## ■目黒区「坂道ウォーキングのススメ」アンケート

部会で様々な話題による「坂道ウォーキングのススメ」。好意的な意見がとても多いですが、「これは良いよ」「こんな風に作ると確かに売れるよね」など、あくまで感覚的に捉えている状況だと思います。今後、部会の改善するために一度冷静に評価してみましょう。

1. どんなところが良い？		◆他のマップと比較して優れていると思う点は？ ◆行先発行の刊行物でこんなに売れる理由は？ 理由）正しい姿勢で歩くことで健康増進に繋がるから
	【例】歩き方のアドバイスがある	
コンセプト	「坂道」という用語を「傾斜」に変えるんだという作者の心意気が買われていて、コンセプトが壊れることが無い。	・作っているうちに「あれも、これも」と積み込み過ぎてコンセプトがブレることが多い中、明確なコンセプトを書き通している。だからこそ多くの情報がスッと伝わるんだと思う。
	「坂道」という明確なテーマがあり、なぜ坂道が良いのか理由を書いていること。	・つらくても、それなりに理由があり効果があるとわかれば取り組もちと伝うから
	シンプルな表紙（地味さが逆に良い） アラインが整って、法丁が良い 手帳な大きさと薄さ	・多くのガイドブックは、表紙が「いかにも」ガイドブックという感じで、若い人が手にするにはカッコ悪い？と感じるのだが、シンプルなので見ながらウォーキングしても恥ずかしくない？ ・A4サイズだと持ち歩くには大きすぎる ・商売っ気がないように感じられる
コースごとにテーマを並べている コースごとわかりやすいように自分けている。	・世代ごとに興味があるポイントが違うので、テーマを並べることで多くの世代に楽しめる高利になっている。 ・自分けているため多くの説明を入れなくてもわかりやすくなっている。	
イラストレーション	コース地図と写真などおすすめポイントが分けて掲載されている（1つのコースで4ページ使用）	・ポイントだけを重複すると細かい地図がなくて迷うが、別ページにすることで迷うことなくウォーキングできる（ある分とか観光ガイドもそうかな？）
	地図の下にも坂道の立体的なデータが掲載されている また坂の部分が矢印で掲載されていて親切。	・平面地図では進行方向が登り坂なのか下り坂なのかわからないが、別に表示することで初めて取り組む人にもわかりやすい。坂の部分を矢印で表示することにより、どこからどこまでが坂なのか把握できて良いと思う。
	四季の移り変わりを写真で掲載している。（24P） ⇒取材の長期間（1年間以上）かけていることが見える	・実際に四季の写真を入れることで、四季を満して行ってみようと思えるため
コース設定	公園、トイレなど休憩ポイントをコースに入れている。	・長い距離への設定でも休憩場所があれば取り組もちと見える ・ウォーキングの服装でコンビニのトイレも借りづらいし、休憩場所やトイレが確保されていればお財布なくても良いから軽装でも取り組めるかなあ…
	スタート・ゴールが駅近駅であること	・生活に身近で誰もが利用する拠点（駅）が起点・終点とわかりやすく組みやすい。駅から3日の歩全てをコンプリートできるので、全部踏破し易くなる
データ	坂の全長と平均傾斜が掲載されている。（37P）	・短くて手頃なところから取り組み、次はもう少し斜度のきついところにとっとチャレンジしたくなる。 ・事前に傾斜がわかれば自分がチャレンジできるか考えて取り組める。
	コースの距離、時間、海拔が掲載されている。	・海拔を掲載している冊子は少ないと思う。万歩計がなくても歩数感がわかって良いし、時間や距離は目安になって「これくらいの間隔なら」「この距離だったら」と取り組みやすい仕組みになっている
その他	■注意！マークが掲載されている。	・売り上げとは関係ないが、区外の人が購入しチャレンジしようと思ったとき、書いてあると親切だと思います。

<p>健康状態のアドバイスがあること</p>	<p>・目並みだけど、やっぱり大事だよな</p>
<p><b>2. もっと盛り込みたい情報は？</b>          (内) トイレの位置</p>	
<p>バス停</p>	<p>・途中で歩くのが辛くなったらバスで帰宅しても良いかと思えるし長い距離だと思ったら途中でバスで移動しようかと思えることで取り組みやすくなるから。</p>
<p>コンビニなど公共施設以外のトイレ</p>	<p>・富前区は公共トイレが少ないから</p>
<p>坂の途中にある商店や古くからある店、特色のある商店など</p>	<p>・</p>
<p>カロリー表示</p>	<p>・区役所の健康づくり講座で教えてもらったが、この速度で70分歩くと自分の体重と同じ分のカロリー消費がされますと教えてもらい、歩く時の目安になって良いと思う。</p>
<p>公園体操の情報</p>	<p>・取捨するるとペース数が多くなってしまいが、準備体操として行うですがやみほきに、ほんの少し詳しくは公園体操マップを閲覧くださいと送付するイメージ。</p>
<p>ウォーキングにより筋力がついた？など成果比較できるものがあれば…</p>	<p>・成果が実感できればモチベーションを保てるため</p>
<p>特別編として同地帯の距離などデータを載せられたら</p>	<p>・同地帯には高齢者が多く住んでいて、すでに高齢で坂道マップの活用は新しいと思うので、同地帯だけでリハビリというかトレーニングできる環境があれば同地に住み続ける年数を少しでも伸ばせるから。          ・家から出るさっかけを作り仲間づくりをしたくない人でも顔を見ることができ、安全確認につながるのも高齢者の周知も必要に入れられるかも。</p>
<p>子連れでもOKコースとか夫婦？カップルお勧めコース、わんちゃんお散歩コース、友達と一緒にどう？などのコースを作れたら</p> <p>声を出すことも呼吸筋肉、声帯にも良いみたいな一言をどこかで載せてウォーキング中に言いさす？</p> <p>区長の話にあった「寿幸」の話</p>	<p>・ひとりだと怖くないことも誰かと一緒に行えば続けられることもあるので。          ・夫婦でウォーキングしている光景をよく目にするので</p> <p>・ウォーキングしている同士が言いさすようなさっかけを作れたら</p> <p>・さらに調べさっかけはないけど、「寿幸」という言葉はみんな恐られるよね</p>
<p>ワンポイントアドバイス          # お知らせ          # ツイート</p>	<p>Q「坂道制にイデオウが多いのはなぜ？」          A「水分が多いから防火のときに役立つんだって」</p>

### 3. どうやって情報を集めよう？誰がやる？

【例】部会で実際に歩いて現地調査やヒアリングする

<p>現状では部会で実際に歩くが確実？ 部会でいくつかの区に分かれて区内の坂を巡る 委員が住所近くの坂を担当しては？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に自分で歩かないと勧められないため、目黒ウォーキングマップにも、坂を歩いたコメントやコースなどが掲載されておりました。中には手作り感が出ていたので</li> </ul>
<p>今後連携が必要だと思う、健康運動普及局や区内のウォーキングクラブや体育指導員と相談しながら一緒に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がった段階でお願いしやすさとボタンタッチするより、企画の発想から一緒に考えていく方が近年の取組みの時に協力してもらえるかな？と思います。</li> </ul>
<p>まずは既存資料の収集・整理をもとに図上でコース設定 見落としがないか物産会に照会を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は図上で出来るのでは？</li> </ul>

### 4. PRの方法は？

【例】フロンターレの選手をキャラクター採用する

◆数多くあるマップや冊子の中から手にとってもらうためにはどうしたらよいでしょうか？

【例】誰かが知っていて注目度が一段とアップする

<p>現在開催している健康講座、健康診断、赤ちゃん検診などで配布する 区内スポーツクラブなどの利用者、公園体操参加者に配布 ペットショップや動物病院で配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に興味がある人や犬の散歩のとき使用してもらい、チラシを配る。</li> </ul>
<p>駅一帯のなどに特設サイトを設置 歩いた人の感想などを書いてもらう。 (この距離何分で歩けました〜ウォーキングはじめて体重減りました〜などのランキング) ランキングによって特産物プレゼント。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園サイトも実際には書き込みは増えたいし効果は不明だけれどプレゼントがあるお返しは送るか否か〜と期待？</li> </ul>
<p>イベントを行う際はイベント開催時に配布。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントと連動して行いたいため。</li> <li>・イベントが多くなるとの日に増える機会</li> </ul>
<p>携帯版の地図を作る？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子を持ち歩かなくて良いし更新・修正もしやすい？</li> <li>・どこかに購入して行く手間も省け気軽にダウンロードできて良い。(行政ではあまりなくインパクトがあると酷が出ていたし〜百二鳥だと〜)</li> </ul>
<p>スポンサーをつける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子を見せたり、バーコードリーダーを付け割引ページを見せたりすると、賞品平割け知り？〇〇商店？〇〇引きになりやすさなどの特権をつける</li> </ul>
<p>ガイドに区内在中のスポーツ選手を ページ案内はあんな人が良いのでは  経路して取り組めるようにスタンプブックを付属させる</p>	<p>めぐるっちは不用品な存在</p>

### 5. その他・自由記入欄

地図の観点から、登賞者等の情報が多いところで坂に関わる場所があれば、散入してコースに入れるなどできたら良い。  
参考にするため目黒区の事例を聞きたい、部会に招くでも訪問でも、  
マップの反応とそれを活用した今後の取り組みについて聞きたい。  
頭文字で「みやまえく」となる5つの坂があったら面白いなあ。  
1コースは坂をやすき重視で4〜6㎞程度にしたい  
名前が付いている既存の1冊版なら5コースくらいで  
ビジュアル重視でなるべく活字は少なく！  
無名の坂の発掘とネーミングも必要では

